KAWASAKI UNIVERSITY OF MEDICAL WELFARE

愛ありて

川崎医福大ニュース

115

2013.11.18

02 学園祭
04 研究室訪問 保健看護学科
06 企画特集 本学におけるボランティア活動
07 私たちの部・サークル紹介
08 医福大ではたらく人々
09 就職活動コーナー
10 キャンパスインフォメーション

企画特集

本学における ボランティア活動

川崎医療福祉大学　広報編集委員会

学園祭

私が模擬店を手伝うのは初めてのことで、バイトとして働くのとは違う新鮮さがありました。ボランティアサークル・ワンピースの一員として参加し、フランクフルトを販売しました。開始直後は、全然お客さんが来ないし、呼び込みしてもだめで売れ行きが不安でしたが、結果としては予想をはるかに上回るものでした。他のサークルや部活の模擬店の工夫も様々で本当に楽しかったです。来年は、今年の経験を生かしてより良いものにと今から楽しみです。

医療福祉学科　1年　三浦（みうら）　帆波美（ほなみ）

私は、10月12、13日の学園祭にてトライアスロンサークルで「わたがし」を模擬店として出店させていただきました。

各部・サークルの模擬店や催し物でとても賑わい、楽しい2日間となりました。また、医福大には高齢者から子どもまで老若男女問わず、たくさんの方々が遊びに来てくださいました。

そうした中で、誰に対しても明るく接して一緒になって楽しむことができる医福大の学生を誇りに思うとともに、この大学に来てよかったとあらためて思いました。

これからもずっと続いてほしいと思います。

健康体育学科　3年　森（もり）　直裕（なおひろ）

私は仮装行列に参加しました。そして3年男女、2年が入賞することができました。全員が集まれる時間は少なかったけれど、バカなことにも、真面目なことにも、本気で取り組めるこの人たちほど心強いものはないと思いました。これからもこの人たちとより一層充実した学生生活を送ろうと思います。

来年は学園祭に参加することはできませんが、先輩方のように後輩たちの勇姿を見に行きたいと思います。最後になりましたが、お忙しい中、応援に来てくださった方々、本当にありがとうございました。

リハビリテーション学科　3年　石井（いしい）　小百合（さゆり）

10月12日（土）、13日（日）、第39回川崎学園祭が開催されました。

今年のテーマは「メッセージ,」。このテーマには、東日本大震災を通して人々が感じた思いや過去38回の学園祭に携わった人々の思いなど、思いをメッセージとして伝えることの大切さと、継承されてきたメッセージを未来へつなげていこうという考えが込められています。

学園祭に参加した学生の皆さんと学園祭実行委員会の皆さんに、前夜祭を含む3日間をレポートしてもらいました。

第39回川崎学園祭を終えて

私たち学園祭実行委員会は、今年の1月から何度も入念な打ち合わせを重ね、準備をしてきました。学生課・教職員の方々をはじめ、近隣住民の方々、学園祭に足を運んでくださったお客様、たくさんの方たちのご協力のもと、無事に学園祭を終えることができました。

川崎学園祭は毎年、医科大学・医療短期大学・リハビリテーション学院と4校合同で行っていますが、今年の統一テーマは「メッセージ,」でした。様々なイベントや企画を通して、元気な学生たちの熱意や頑張り、「メッセージ,」が、学園祭に携わった全ての方々に届けられていれば幸いです。また、こうして学園祭を無事に運営できたのも各校の学園祭実行委員の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

2013 学園祭 統一テーマ「メッセージ,」

前夜祭は、全体が一カ所に集まり、お祭りのように大変盛り上がりました。カラオケ大会、ダンスを見て笑ったり、興奮したり、時間がたつのも忘れるかのように皆で過ごしました。

学園祭では、私は球技サークルの屋台で、はし巻きを販売していました。仲間と協力し、おいしいものをたくさん学園祭に来てくださったお客さんに買っていただく。そういった同じ目標に向かって楽しむといった姿勢はどの屋台でも同じだと思います。そしてこの学園祭を最後まで楽しみ、仲間と充実して過ごすことができました。

臨床工学科　2年　柳本（やなぎもと） 操希（みさき）

私は学科でのお店として「DA☆BAN」というのに参加しました。内容はフリーマーケット、手作りした雑貨を売るというものです。自分の作品がお客さんに手に取ってもらえるか不安でした。しかし、大勢のお客さんにお店に来ていただけたのでとても嬉しかったです。私の作品も「かわいい」と言っていただき、作ったかいがありました。素敵な経験ができ先輩方との交流も深めることができたので、とても充実した一日となりました。来年もぜひ参加したいですし、今年学んだことを来年にいかしたいと思います。

医療福祉デザイン学科　1年　伊達（だて） 奈月（なつき）

私は学園祭実行委員会の模擬店パートに所属しており、さらには弓道部にも所属しているので、この3日間はとても忙しいものでした。11日、前夜祭が始まると、私たちは模擬店の見回りをしながらステージで繰り広げられるカラオケ大会やダンスの様子を楽しみました。

12日、13日の学園祭当日では模擬店に参加しながらも学園祭実行委員の仕事をしていました。このように私の学園祭は忙しいものでしたが、とても充実した3日間になりました。

医療情報学科　2年　有吉（ありよし） 泉希（みずき）

学園祭実行委員の皆へ

今年は80人という大人数でしたが男子メンバーが少なく、準備や片づけに多くの不安がありました。しかし、そんな心配を一切感じさせないほど、皆本当によく動いてくれてスムーズに運営することができました。全くと言っていいくらい委員長には不向きな性格の私がこうしてやり遂げられたのも、皆の支えと協力があったからです。こんな頼りない委員長についてきてくれて本当にありがとう。言葉にできないほどの感謝の気持ちでいっぱいです。実行委員会に入って、かけがえのない仲間や大好きな先輩方、かわいい後輩に恵まれて、一生の宝物になる貴重な経験をすることができ、本当に幸せです。皆で流した汗と涙は一生忘れません。本当にありがとうございました。　（委員長　臨床心理学科　3年　兼松（かねまつ） 優里（ゆうり））

委員長	臨床心理学科	3年	兼松（かねまつ） 優里（ゆうり）
会　計	医療秘書学科	3年	熊田（くまだ） 倫子（みちこ）
書　記	医療福祉経営学科	3年	岡田（おかだ） 莉奈（りな）
広　報	臨床心理学科	3年	野崎（のざき） 桃子（ももこ）
総　務	医療秘書学科	3年	小倉（おぐら） 夕佳（ゆか）

保健看護学科

伊東（いとう） 美佐江（みさえ） 副学科長・教授　プロフィール

山口大学医療技術短期大学部看護学科
山口県立衛生看護学院助産婦科
Graduate Program, College of Nursing,（U.S.A.）
山口大学大学院医学研究科医療情報系を修了し、2008年より川崎医療福祉大学医療福祉学部保健看護学科に着任。2009年より教授、2012年より副学科長に就任。看護師、助産師、看護学修士、医学博士。

学部での講義は、看護ケア援助論、看護過程、基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ、保健看護学理論、卒業研究。大学院での講義は、基礎看護学特論、看護と倫理、保健看護学実習。専門としている研究分野は、バイオエッシクス、臨床倫理、看護倫理関連、基礎看護学 領域、看護教育関連、国際看護関連。

Q1 伊東ゼミを希望した理由は？

- ゼミの様子は、各個人での指導からゼミ生（大学院生）全員や学部生を交えたものまで幅広く、研究について自由に意見の発言ができる雰囲気で、さまざまな立場から多角的な意見交換を行っていました。
- 伊東先生を選んだ理由は、津島先生からの紹介でした。海外で生活された経験や先生がされている研究にも関心を持ち、私自身も外国人患者に興味があったため指導教員になっていただきました。
- 基礎看護学実習Ⅰの実習での先生の印象が素敵だった。
- まず、基礎から学べば今後の幅が広がる。
- 助産師でもあり研究分野も幅広く、とても専門的でレベルの高い研究ができると思った。
- 自分のやりたいテーマが伊東先生の専門だった。
- 研究を基礎としてしっかり学びたい。

Q2 伊東先生ってどんな人？ その魅力は？

- すごく学生思い！　学生の立場で話を聞いてくれる。
- いつも笑顔。
- 優しい。でもやることはやる。
- 明るくて何でも話せる大好きな先生。
- お酒大好き♡
- 明るくて、ステキな先生です♡
- とても親しみやすい。研究以外のことも相談に乗っていただいています。
- クリティーク力のすごさ。知識の豊富さに日々驚いています。
- オープンで明るい。
- なんでもテキパキこなす先生。
- 明るい、早い、人気者。決断力がある。とにかく挨拶が気持ちいい。
- とても明るく笑顔の素敵な先生です。
- いつも親身になって話を聞いてくださいます。
- とても明るく、いつでも親身になって寄り添ってくれている先生です。研究についても、講義についてもバランスよくされていて、全て信念をもってされていることがよく伝わる先生です。私自身も教員２年目になります。大学院を修了した今でも交流させていただき、様々なことを現在も先生から勉強させていただいています。その中で、伊東先生のようにはできませんが、一歩でも近づけるよう日々努力していかなければならないと現在の仕事に向き合っています。教員として、研究者としての両方の恩師に出会えて感謝の気持ちです。

Q3 ゼミを通して学んだことは？

- 論文の書き方
- 研究の方法
- 高齢者の在宅に対する思いとジレンマ
- 研究の流れと発表
- 難しいことでもとりあえずやる
- 倫理の視点、国際的視点にたったもの

Q4 研究テーマが決まっていれば、または書こうと思っている研究内容は？

- 看護師の倫理的問題とジレンマについて
- 医療の意思決定プロセスにおける一般成人の自律性に関する研究
- 意思決定能力のある患者と家族に関する研究
- 高齢者の意思決定と医療現場における葛藤
- 一般成人患者に抱く看護師の陰性感情と対処

Q5 大学院ではどのような研究をしていますか？

- 病院における外国人患者の受け入れの実態と外国人患者の看護に対する看護師の認識
- 消化器がんに罹患している壮年期の男性患者の子どもに対する親役割の変化
- OJTにおける新人看護職員教育に果たす看護師長の役割
- 助産師が学校現場で行う思春期性教育の実態と伝えたいこと
- 食物アレルギーを有する子供を養育する母親のQOLと対応力に関する研究

Q6 なんでも一言！

- 伊東ゼミは本当に楽しくて、やりがいも感じられるゼミです。
- とりあえず人間味があって、少しきびしい。
- 大好きだと多くの学生や卒業生が言っています。
- 研究方法などわかりやすく説明していただき、漠然とした研究ということが理解できるような講義でした。また、再度看護を考える機会となった講義でした。

教員からのメッセージ

命に関わる仕事、助産師になりたいと思って、山口大学医療技術短期大学部を卒業して、そのまま進学し、助産師となりました。臨床経験は5年間しかありませんが、異常産も含めて300以上の出産証明書に助産師として署名したと思います。その後、専門学校で教鞭をとり、主人の留学に伴い、仕事を辞めることになりました。好奇心旺盛な私は無謀にも米国の看護教育を実際に経験することを思いつき、ヴィラノバ大学（Villanova University）の門を叩くことになり、看護学修士を取得しました。決して、英語に堪能だったわけではないので、毎日、テキストや論文を読む、レポートを書くことに追われ、泣くような日々でした（事実、泣いていましたが…辞めたいと何度も思いました）。留学前に比べると、自分ひとりで行動できる英語ぐらいにはなりましたが、英語が母国語ではない方と議論できない自分が情けないと思うことがよくあります。英語が苦手だと思う方がおられると思いますが、私でもできたのですから、嫌がらずに頑張ってほしいと思います。専門性に英語が加わると、もちろん情報量も変わりますが、きっと世界観が変わります。

帰国してからは、大学で看護教育に携わることになりました。ご縁があって本学で勤務していますが、学生の皆さんには、環境を嘆くのではなく、その環境のなかで何ができるかを考えてほしいと思います。どこにいても、何をしていても、グローバルな世界はきっと受け入れてくれると思います。

現在、基礎看護学領域を担当しています。専門職者として生きていくためには、主体的に学ぶことが欠かせません。学生さんの主体的に学ぶ姿勢が育めるように、学部を卒業されても、大学院を卒業されても、教育および研究を通じて、皆さんと共に楽しく考え、共に成長していきたいと思っています。そして、一緒にグローバルな体験ができたらと思っています。

企画特集　本学におけるボランティア活動

ボランティアセンターについて

本学には平成19年4月に開設されたボランティアセンター（7階北ウイング）があります。ボランティアセンターの主な機能は、地域の各団体、施設からのボランティア依頼の情報をセンター内およびWeb掲示板で開示・募集し、手続きや研修、記録などのコーディネートを行うことです。平成24年度は149件の依頼があり、342件のコーディネート実績があります。平成25年度はまだ半期が過ぎたところですが、学生さんの活動が活発で、すでに昨年度のコーディネート件数を超えています。

ボランティアセンター主催イベントについて

開設以来、センターでは多くのイベントを開催してきました。中でも継続的に行っているのは、災害支援ボランティアと地域高齢者サロン活動、七夕エコナイト活動です。

さらにセンター主催のイベントだけでなく、学生スタッフが考案し継続的に行っているイベントも多くあります。年に一度行っている「中庄クリーンアップ作戦」と題する清掃活動や、「花植え活動」、「インクカートリッジの回収」、「古切手の回収」、入学式、卒業式での「シャッター押します隊」、その他、募金活動など様々です。

以下にボランティア活動のいくつかについて詳しく紹介いたします。

災害支援ボランティアについて

平成23年3月11日に発生した東日本大震災支援活動をするために、同年5月に「災害ボランティアチーム」を結成しました。募金活動および現地での支援活動を継続的に行っています。

支援活動は平成23年6月から、岡山県社会福祉協議会や大学コンソーシアム岡山、いわてGINGA-NETプロジェクト、AMDA合同ボランティアなどの活動に参加し、現地での清掃活動や植樹、仮設住宅でのサロン活動などに従事しました。また、本学オリジナルの支援ボランティアも三期にわたり行っており、宮城県南三陸町での瓦礫の撤去活動、石巻市での漁業支援など、七ヶ浜町での農業支援やサロン活動などに従事しました。5名の教職員および約100名の学生が支援活動に参加し、微力ながらも支援のための歯車になることができました。これに際しては本学協助会や教職員による金銭的なバックアップもあり、全学レベルでの一体感をもって取り組むことができているように思います。

支援活動に参加した学生は、「毎日遅くまでミーティングを重ね、どうすればもっと被災地の皆さんの役に立てるだろうかを真剣に議論した」、「テレビで見ているだけでは分からないことがたくさんあり、人の関わりが最も大切であることを感じた」、「帰ってからも岩手のことをみんなに伝えることが今後の復興の手助けになると思う」など、人としての優しさに満ち溢れた感想を残しています。

高齢者サロン活動について

平成21年6月より、大学の所在する庄地区の各地域で高齢者を対象に実施されている「高齢者ふれあいサロン活動」に、年に3回ほど参加しています。現在までに2名の教職員と、60名の学生が参加しています。場所は各地域の公民館、小中学校や寺社などで開催されています。地域の民生委員の方々と連携し、健康体操、転倒予防体操、夏バテ予防講話、震災支援活動報告、クイズ大会やカルタなどの各種レクリエーション、クラフト（うちわ作り、折り紙）などを行っています。これらのイベントはすべて、参加学生が学科で学んでいる内容を活かしたものであり、学生のバイタリティーには毎回とても感心しています。サロン活動に参加した学生は、「お孫さんの話などを聴かせていただき、和みのある時間だった」、「ともにうちわを完成させる過程が最高に楽しかった」、「自分たちが考案した健康体操を毎日していただくことで、長寿現役を目指してほしい」などの感想を残し、地域の一員として高齢者の方々を支援していく自覚さえ生まれています。

お世話になりました

ありがとう

本学における様々なボランティア活動について、
ボランティアセンター長に伺いました。

学生スタッフの活動について

昨年末に真備いきいきプラザで行った、クリスマス会についての学生の活動報告を紹介します。

このクリスマス会は、福島第一原発事故で倉敷市域へ避難・移住した人、および東日本大震災の影響で生活に悩む人を支援する「よりはぐプロジェクト」と共催して行い、本学学生11名、子どもたち約20名が参加しました。

クリスマスカードの作成では、子どもたちは楽しそうにサンタやトナカイのイラストを貼ったり絵を描いたりして、個性のある可愛いカードができました。しっぽとりゲームでは元気に走り回り、大学生の方がへとへとでした。また宝探しでは、紙テープで作った星を宝とし、会場中に隠して、みんなで夢中になって探しました。たくさん見つけた子どもから、デコレーションしたみかんをプレゼントしました。子どもたちにも保護者の方にもとても喜んでいただき、嬉しく思いました。私たちも楽しい時間を過ごすことができました。元気いっぱいの子どもたちの笑顔に癒やされ元気をもらいました。慣れない岡山での生活を送っている子どもたちにとって、思い出のひとつになってもらえれば嬉しいです。（リハビリテーション学科3年　**難波（なんば）祐香（ゆか）**、**渡辺（わたなべ）裕子（ゆうこ）**）

ボランティア活動って何？

私は毎日ボランティア活動をしています。でもそれは、考えてみれば…ボランティア活動だったものばかりです。地域の子どもの登校の見守り、スポーツ少年団での指導、会館での体操教室、どれもみな必要だったり楽しいからやっているわけであり、特にボランティア活動とは意識していません。そんなものではないでしょうか？ 学生の皆さん、どうか気軽にどんなボランティア活動の募集があるか、ボランティアセンターに見に来てください。ボランティアセンターはすべての学生さんのためにあるのです。（ボランティアセンター長　**西本（にしもと）哲也（てつや）**）

私たちの部・サークル紹介

入部はいつでも大歓迎!

本誌マスコットキャラクター「かわふっくー」

華道部　すずらん

医療秘書学科　4年　**目黒（めぐろ）美帆（みほ）**

華道部すずらんは、日本の伝統文化である華道を通して和の心を学んでいます。

主に、木曜日（月3回）の稽古では、四季折々のお花を使って生けています。3大イベント（6月：福文祭、7月：インターネット花展、10月：学園祭）では、日頃の稽古の成果を存分に発揮した作品を展示しています。

華道が、「堅苦しく難しい」と思っているあなた!! そんなことはありません。未経験者の方には、先生が丁寧に指導をしてくださるので、すぐに基本的な生け方をマスターすることができます。

また、日頃の稽古を積み重ねることによって年に2回、免状を取得することができます。その免状は、履歴書にも記載することができます。

未経験者・経験者どちらも大歓迎です。気軽に見学にお越しください。

大和撫子を部員一同お待ちしております!!

バレーボールサークル「AFRO PLANETS」

リハビリテーション学科　2年　**下司（げし）美咲（みさき）**

AFRO PLANETSとは、9人制のバレーサークルです。

毎週水曜日と土曜日に19時から21時まで活動しており、場所は庄中学校です。学年に関係なくみんな仲良しで、本当に楽しいサークルです。

試合は5月、10月にあり、その試合に向けて真剣に取り組む一面もあります。テスト期間、長期休み期間は活動がお休みなので、勉強の妨げになることもありません。

9人制のバレーに少し違和感を持たれるかもしれませんが、ぜひ一度バレーをしに来てください！もちろん、見学だけでも大歓迎です！学園祭にも参加しており、本当に楽しいサークルです！

医福大ではたらく人々

学生の皆さんの大学生活をサポートし、大学を支える
縁の下の力持ち。医福大ではたらく人々を紹介します。

学生課

仕事内容

学生課の業務は「入学生」「在学生」「卒業生」に関するものに大きく分けられます。「入学生」に関することでは、入学式・オリエンテーションの運営協力、入寮の案内などを行っています。「在学生」に関することとしては、奨学金、保険、学割、ロッカー利用、アルバイト紹介などの業務を担当しています。そして各学科や学生部などの関係部署と連携し、大学生活で生じる諸問題の解決に努めています。「卒業生」に関することでは、卒業証書の準備、卒業式や同窓会などへの協力があります。また、保護者の組織である「協助会」に関する業務も行っています。学生課は、とりわけ学生の皆さんと接する機会が多い部署であり、それだけにやりがいがあります。今後も学生生活に関して学生の皆さんにできる限りの支援を行いたいと思っています。

アピールタイム

学友会のリーダー、学園祭のパートリーダー、部・同好会の部員など毎日様々な学生の皆さんの相談に、６名の職員が快く応じています。学生課でできることとできないことがありますが、可能なかぎり皆さんの相談に応じていきたいと思います。なんといっても人と人との人間関係が一番。問題が解決して、ありがとうございましたと学生の皆さんからお礼を言われると、またがんばろうという気がわいてきます。

医福大 警備課

仕事内容

警備課は、１階職員玄関の「防災センター」を拠点に医科大学附属病院本館警備員と連携して24時間交代制で勤務しております。その名称のとおり、火災等の予防活動をはじめ、火災、その他の災害が発生した場合における初期対応等の防火・防災に関する業務と、もう一つは、学生、教職員の皆さんが安心して学生生活や業務が遂行できるよう、大学構内全体の安全・安心な環境確保と秩序維持に向けた警備全般に関することが主な業務です。

このために、消防用設備の定期点検による適正な維持管理、構内の巡回、不審者の警戒等のほか、来訪者の受け付け等窓口業務も行っています。

アピールタイム

大学当局と連携しながら業務に取り組んでいますが、日々の業務を通じて火災等災害の発生や各種事件・事故、トラブルもなく、学生、教職員全員が無事であり、また、大学の業務全般についても異常なく平穏に一日を終えることができるように努めています。

本学は、4,000人以上の学生、教職員が在学、勤務しており、災害、特に火災予防の重要性については言うまでもありません。

防火・防災管理業務は、学生、教職員一人ひとりの協力が不可欠です。平素から防災について関心を示し、そして危機意識、問題意識を持つことが非常に重要です。

あらためて今一度、その意識で日常生活、業務を見直してみてください。

就職活動コーナー

現在、社会に出て働いている卒業生の皆さんから、4月から社会人になる皆さんや、これから就職活動を控えた皆さんへのアドバイスをいただきました。

働くなかで必要なこと

保健看護学科（平成22年度卒業） 亀髙 泰世（かめたか やすよ）
川崎医科大学附属病院（看護師）

私は現在、看護師として病院へ勤務しています。看護師になり、あらためて必要だと感じていることは、「情報の共有」です。当たり前なことだと思うかもしれませんが、これは社会で働くうえで基本になります。無意識のうちに情報共有している場面は多くありますが、私は日頃よりこれを意識することにしています。

例えば、患者さんから情報を得た際に、他のスタッフと共有することで、新たな提案を得ることができます。また、間違いを指摘してもらうことで事前にミスに気付き、インシデントやアクシデントを防ぐことができます。何らかの失敗をしてしまった場合でも、情報を共有することで再度同じミスを繰り返さないように学びあい、その結果、意識や行動が改善されていきます。

学生時代から情報を共有するということを意識しておくと、様々な視点から物事を考える習慣が身に付き、将来的に社会に出ても役立ちます。就職活動や社会人になることに対して、いろいろな不安があると思いますが、「自分らしく」を心がけて前に進んでほしいと思います。

1年次から就職活動は始まっている?

感覚矯正学科（平成24年度卒業） 内田 綾乃（うちだ あやの）
医療法人 平野同仁会　総合病院 津山第一病院（言語聴覚士）

私は、今年の4月から言語聴覚士として総合病院に勤務しています。就職1年目ですが、就職活動を目前に控えた4年次に感じたこと、就職してから感じたことの2点をお話ししたいと思います。

まず初めに、感覚矯正学科言語聴覚専攻では4年次になり8週間の外部実習にいくのですが、実習先が後の就職先になることがあるということです。同級生の中にも、3分の1程度は実習先に就職が決まりました。指導者から声をかけていただいたり、近隣の病院の求人情報を教えていただいたりと、実習の際にすでに就職活動は始まっていたのだと感じました。就職試験では、小論文、専門科目の筆記試験に加え、面接が必ずあります。いずれも専門的な設問が多く、1年次からしっかりと勉強することが重要です。

次に、就職後は、先輩STがいる病院で良かったと感じました。どんな環境に就職しても、勉強は必要ですが、指導してもらえる先輩、一緒に勉強できる仲間がいる環境が重要であると感じました。これから先、多くの仲間が、医療、福祉の現場で活躍してくれることを祈っています。

後輩の皆さんへ

臨床栄養学科（平成22年度卒業） 本田 文（ほんだ あや）
尾道市立市民病院（管理栄養士）

管理栄養士の活躍の場は多岐にわたりますが、私はその中でも特養と病院を経験しました。特養は入所者さんの栄養管理が主な業務であり、体調・体重の増減・喫食状況を確認し、食事の形態や量の変更を行います。高齢の方の中には低栄養状態の人も多く、他職種と連携して身体状況の把握・改善に努めました。病院でも患者さんの栄養管理や栄養指導はもちろん、NST（栄養サポートチーム）、緩和ケアチームなど多職種で関わる業務が多くあります。管理栄養士としての専門性が求められるので日々の勉強が欠かせないと感じています。

就職活動についてですが、試験にはほとんど面接があると思います。受ける施設のことをよく調べ、そこで何をしたいのか、それに向けてどういった努力をしてきたのかを明確に伝えることが大切だと思います。多くの受験者の中でも印象に残るよう、気持ちのいい挨拶と笑顔で臨みましょう！ぜひ皆さんが希望する職場へ就職できることを願っています。

就職活動前の3年生へのアドバイス

医療福祉経営学科（平成23年度卒業） 安部 愛美（あべ なるみ）
社会福祉法人 恩賜財団 岡山済生会総合病院

就職活動をするのに、実際に動いてみないとわからないことが多くありますが、履歴書の書き方の練習やSPI試験対策等、就職活動が本格的に始まる前にできることがたくさんあります。しかし、自分がどこに就職したいのか、何を目指したいのか、まだ具体的に考えていないなど、悩んでいる方もいるかもしれません。そのような方は、卒業生の話を聞いたり、インターンシップに行ったりすることで、自分から行動して自分自身にとって貴重な体験を得ることができると思います。

私は学生のとき、セミナーに来てくださった卒業生が、病院に勤めているのを聞いて、就職や病院などについてお話を聞きたいと思い、病院訪問させていただくことになりました。そこでのお話が、就職活動や卒業論文に役立ちました。

まだ1年先のことは想像しにくいと思いますが、今から行動しておくことで、役に立つことは必ずあります。今から就職活動を行うことは決して早いことではありません。就職したいと思う企業・病院研究を行うなど、今の時期から自分なりに就職活動を始めてみてください。

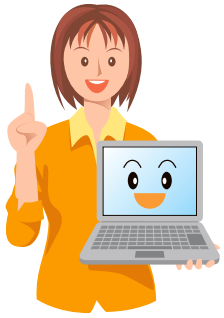
ＳＮＳの利用について

SNS（social networking service）は、「個人間のコミュニケーションを促進し、社会的なネットワークの構築を支援する、インターネットを利用したサービスのこと。趣味、職業、居住地域などを同じくする個人同士のコミュニティーを容易に構築できる場」（大辞泉）として、近年、世界中で普及してきました。

TwitterやFacebook、LINEなど、情報の発信・共有を誰でも気軽にできることなどから、日本でも多くの人が利用しています。

しかし、昨今ニュースなどで報じられているとおり、SNS上で非常識な画像を掲載するなど、行き過ぎた事例が起きています。本学では今後、こうした行為に対しては次のような厳罰で臨む方針です。

ソーシャル・ネットワーキングサービスを含む全てのインターネット、会話、その他のコミュニケーション手段を通じて、他人のプライバシー権を著しく害する悪質な個人情報の漏洩及び本学の品位を著しく毀損する行為に対する懲戒処分は、退学または停学とする。



これは、学内学外を問わず、SNSなどによる情報漏洩や大学の品位を失墜させるような行為を強く戒めるものです。

また、ネット上のコミュニケーションは他の人から見られていることを常に意識し、再度、自分のTwitterやFacebookなどの内容をチェックし、第三者が見て誤解を受けるものでないかを確認してください。これはあなた自身の身を守るためでもあります。

一度インターネットで発信すると回収することが不可能となることを自覚し、本学学生にふさわしい品位と常識のある行動を求めます。

チェックリスト ✓

- ☐ 今、あなたがSNSに掲載している文章や画像は、**まったく見ず知らずの人が見ても誤解する可能性**はないですか？
- ☐ 不用意に**個人名、メールアドレス、顔写真、大学・学科名**など個人が特定できる情報を公開していませんか？ スマートフォンで撮った写真には位置情報が記録されることがあり、それをもとに自宅を特定される事件が起きています。
- ☐ 掲載している内容は**一生残ってもいい内容**ですか？ インターネットではいったん出した情報はたとえ削除しても、転載されていつまでも残ります。
- ☐ **許可なく他人の写真を転載**していませんか？
- ☐ **不法行為（未成年の飲酒喫煙など）や社会的に望ましくない行為**を掲載していませんか？
- ☐ **匿名だからと思って無責任な発言**をしていませんか？ インターネットではたとえ匿名であっても様々な手段で個人が特定されることがあります。また、実名・匿名を問わず、その発言は責任を伴うものとして取り扱われます。

2013年度　第1回～第4回　オープンキャンパス開催

オープンキャンパスは毎年５回開催しております。今年度は残すところ、あと１回（来年３月開催）となり、2014年度入試志願者を対象の開催は第４回をもって終了しました。その日程および内容等は次のとおりです。

開催日程	第1回 6/16(日)	第2回 8/4(日)	第3回 9/8(日)	第4回 10/12(土)･13(日)
参加者数	760人	1,741人	490人	566人
開催内容	・学長挨拶 ・入試概要説明 学科ごとの企画 ・学科説明 ・実習室見学 ・体験学習 ・ミニ講義 その他 ・入試､就職､編入学等相談	・学長講話 ・入試概要説明 学科ごとの企画 ・学科説明 ・実習室見学 ・体験学習 ・ミニ講義 その他 ・入試､就職､編入学等相談	・学長挨拶 ・入試概要説明 学科ごとの企画 ・学科説明 ・実習室見学 ・体験学習 ・ミニ講義 その他 ・入試､就職､編入学等相談	学科ごとの企画 ・学科説明 ・実習室見学 ・体験学習 その他 ・入試等相談
	学食体験（無料）			パン引換券､模擬店サービス券
	無料ドリンク、かき氷（第2回のみ）			学園祭と同時開催
	キャンパス見学ツアー			
	附属病院見学ツアー：参加者は3回で延べ　659名			

学長挨拶

実習室見学
(臨床栄養学科)

今年度は昨年度を110名上回る大勢の方々に参加いただきました。

全体会では椿原学長が、“医療福祉”とは何か、また、本学の特徴について詳しく話され、続いて守屋入試部長から2014年度の入試概要について解説があり、参加者は真剣な表情で聴き入っていました。

学科ごとの企画として実施した「学科説明・実習室見学・体験学習」では、教員や先輩に勉強の内容や学生生活の様子を聞いたり、専門的な器具・用具が整っている実習室を見学したりと、学科についての理解を深めた様子でした。

また学科・専攻ごとの「ミニ講義」も多くの方々が聴講し、専門分野に関する講義に、一足先に大学生気分を味わっていました。さらに、毎年好評の本学実習病院である「川崎医科大学附属病院見学ツアー」は、附属病院各部署のスタッフの全面的なご協力で、日頃は見ることのできない病院内の施設・設備を丁寧な説明付きで見学することができ、参加者の皆さんには大変満足していただくことができました。

第４回オープンキャンパスは、学園祭と同時開催のため、地域住民の方をはじめ、多くの方々が来学され賑わう中、第１～３回とは違った雰囲気での開催となり、日頃とは異なる大学の一面を堪能されていました。

第５回は、高校１・２年生を対象に３月に開催します。

来年度は、さらに内容・告知の方法などを十分に検討して、今年度以上に満足していただけるようなオープンキャンパスの実施を目指していきたいと思っております。

実習室見学
(医療秘書学科)

学科説明
(保健看護学科)

入試相談コーナー

学科紹介コーナー

自動扉への改修について

既にお気付きの方も多いと思いますが、平成25年９月、本学内の数カ所の扉を自動扉に改修しました。

これは、平成24年度私立学校施設整備費補助金（私立学校教育研究装置等整備費（私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費））を受け、「校舎等自動扉導入によるバリアフリー化事業」として行ったもので、校舎棟２階事務室入り口、講義棟２階中央横入り口、講義棟３階渡り廊下入り口、厚生棟２階・３階食堂入り口を自動扉に改修しました。これに伴い、これまでよりスムーズに、学生・教職員の事務室利用や、講義棟への移動が可能になりました。

これからも、多くの方が利用しやすい川崎医療福祉大学を目指します。

キャンパスインフォメーション

教職員人事異動

この情報はホームページ上で
公開していません。

新任教員の紹介

保健看護学科　講師　富田（とみた）　早苗（さなえ）

はじめまして

9月から保健看護学科の講師に着任いたしました。地域の保健師としての経験を生かし、皆さんとともに人々の暮らしをサポートする看護について考えていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

学会等開催（予告）

11月18日	自閉症特別講座
11月22日～24日	日本宇宙航空環境医学会
11月23日	中高年健康・スポーツ教室
11月24日	日本視能訓練士協会生涯教育制度新人教育プログラム技術日程　中国四国ブロック〈視野検査〉
11月25日	自閉症特別講座
12月2日	自閉症特別講座
12月7日	自閉症児のための水中運動教室
12月9日	自閉症特別講座
12月14日	自閉症支援者レベルアップセミナー
12月15日	岡山県作業療法士会現職者選択研修
12月16日	自閉症特別講座
1月11日	自閉症児のための水中運動教室
1月20日	自閉症特別講座
1月27日	自閉症特別講座
2月3日	自閉症特別講座
2月8日	岡山県言語聴覚士会総会・学術集会
2月8日	自閉症支援者レベルアップセミナー
2月10日	自閉症特別講座修了式
2月15日	障害者スポーツ教室
2月15日	ホスピタルデザイン研究会総会
2月22日	自閉症児のための水中運動教室

編集室

10月の川崎学園祭は天気が心配されましたが、無事開催できました。早くから直前まで準備や練習に励んでいた学生の皆さんが、充実した3日間を過ごせたであろうことは、P.2～3の写真のたくさんの笑顔からもうかがえます。

さて、早いもので2013年も残すところ約1カ月。振り返ると今年もいろいろな出来事がありました。SNS上での行き過ぎた悪ふざけ画像投稿のニュースも記憶に新しいところです。本学の多くの学生さんも、TwitterやFacebookなどを利用しているのではないかと思います。本来、それらは便利かつ楽しいツールのはずです。しかし、使い方を誤れば、たった指一本で大変な事態を招く恐れがあるということを常に心に留めておいてください。p.10では、学生の皆さんに今一度SNSの利用について考えていただきたいということで、特集を組みました。もうすぐ冬休み。写真を撮ってSNSに掲載する機会も増えると思います。チェックリストを読んで、正しく、楽しく、安全にSNSを利用しましょう。

国際交流

7月31日	韓国　又松（ウソン）大学校見学受け入れ（教員4名、職員1名）
8月30日～9月15日	医療秘書学科海外研修（学生10名、引率教員1名　研修先：オーストラリア・オーストラリアン・カソリック大学（ACU）ノースシドニーキャンパス）
9月13日	上海健康職業技術学院見学受け入れ（医療短期大学より依頼　教員6名、学生6名）
9月29日～10月8日	医療福祉経営学科海外研修（学生12名、引率教員1名　研修先：デンマーク・日欧文化交流学院）
10月18日～31日	フィリピンからの研修員受け入れ（感覚矯正学科　Lao, Jennifer Yu）

大学行事

11月30日	入試前日（全学休講）
12月1日	推薦入試
12月22日～1月5日	学部・大学院）冬期休業
1月6日	学部・大学院）授業開始
1月14日	学部）秋学期代替授業日（月曜日分）
1月17日	センター試験前日（全学休講）
1月18日～19日	大学入試センター試験
1月22日	学友会後期総会・執行委員長選挙
1月29日	学部）秋学期代替授業日（金曜日分）
1月30日	学部）予備日（補講以外は全学休講）
1月31日	入試前日（全学休講）
2月1日	一般入試前期
2月3日	学部・大学院）秋学期授業終了
2月4日～18日	学部）秋学期定期試験
2月20日	編入学試験（二次募集）・大学院入試（修士2期・博士後期2期）

図書館だより

秋も深まり、勉学・読書に最適の季節です。みなさん、図書館を有効に利用してくださっていますか？

図書館では、情報検索講習会を開催しています。レポートや卒論を書くときに参考になる文献を検索するデータベース（医中誌Web、magazineplus、PubMed、PsycINFO）の使い方は勿論、マイライブラリによる館外文献複写申込方法も講習します。グループ単位で前もって予約して受講する「事前予約講習会」と、予約なしで受講できる「タイムスケジュール講習会」があります。「タイムスケジュール講習会」は、春学期と秋学期に期間限定で開催しています。詳細、不明の点については図書館カウンターでお尋ねください。

また、図書館の蔵書を積極的に貸し出して利用した学部学生を表彰する「ベストリーダー賞」を昨年に続き今年も選出します。勉学に必要な図書ばかりでなく、一般教養書や生活に役立つ図書等、興味ある図書は大いに貸し出して利用してください。